医師の経済面での処遇の変化として手当の変化があったか、医師にたずねたところ、全体では「増えた」が 7.6%、「変わらない」が 86.6%、「減った」が 2.3%であった。

診療科別にみると、「産科・産婦人科」では「増えた」が18.3%と他と比較して2倍以上の高い割合となるなど、基本給に比べ相対的に診療科ごとの違いがみられた。

0% 20% 40% 60% 80% 100% 2.3%3.5% 全体 7.6% 86.6% (n=4227) 内科 6.3% 1.8% 4.1% 87.8% (n=1109) 精神科 1.1%3.2% 6.3% 89.5% (n=95)小児科 2.3% 3.6% 5.7% 88.3% (n=384)2.8% 2.2% 外科 9.1% 85.9% (n=638)脳神経外科 3.0% 3.0% 6.8% 87.2% (n=234)整形外科 2.4% [3.1% 5.3% 89.1% (n=413) 産科・産婦人科 1.9% | 3.2% 18.3% 76.7% (n=377) 救急科 3.3% 87.9% 3.3% 5.5% (n=91) 2.4% 3.7% その他 6.5% 87.4% (n=876)■増えた □変わらない 図減った □無回答

図表 185 経済面での処遇の変化-手当-